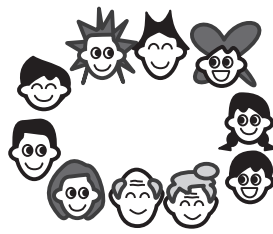


津谷歯科医院 口腔ケア新聞

NPO法人
訪問歯科診療
を広める会
賛助会員



令和4年5月号
発行人 津谷歯科医院
院長 津谷良
住所 岡山市中区海吉1807-14
紙面に関するお問い合わせは下記まで
電話：0120-779-418
配信代行：訪問歯科診療を広める会

皆さんこんにちは！いかがお過ごしですか？

津谷歯科医院、院長の津谷良です。

新型コロナウイルスの追加接種(3回目)が進み、4月7日現在、日本では人口の約44.3%、高齢者(65歳以上)では約84.3%に到達しました。高齢者の2回接種は92.5%なので、何らかの理由で接種できない方等を除けば、高齢者の追加接種は4月末でほぼ完了となります。先行して追加接種を実施した英国の感染者における致死率は、未接種者で25.5%、2回目接種者は18.5%、追加接種者は4.1%となり、3回接種することで高い死亡予防効果が認められました。重症化についても90%以上の予防効果が認められていることから、今後はインフルエンザと同じような位置付けになっていくものと思われまます。今月は、『口腔の健康と医科医療費との関係』について取り上げてみたいと思います。

■ 残存歯数と医科医療費の関係

口腔の健康が全身の健康と密接に結びついていることは以前から多数報告されています。その中には、口腔の健康と医科(内科や外科等)の医療費との関係を調査した研究もあります。これらの報告によると、残存歯数が多いほど、医科医療費は少なく、0~4本のグループでは20本以上のグループと比較して1年間で平均19万円少なかったことが分かりました。(右表)歯を多く失っている方には、心血管疾患や脳血管疾患の発症リスクが高いことや、歯を失う原因で最も高い割合を占める歯周病は糖尿病や循環器疾患と関連していることが原因と考えられます。また歯が少ないと咀嚼機能が低下するので、食事に制限が生じて低栄養を招くことが知られています。低栄養も入院日数が長くなる傾向があり、医科医療費の増加につながります。どんな食事でも『おいしい』と感じられる20本以上を目指しましょう。

歯数	医療費
0~4 歯	57 万円
5~9 歯	51 万円
10~14 歯	45 万円
15~19 歯	45 万円
20 歯以上	38 万円

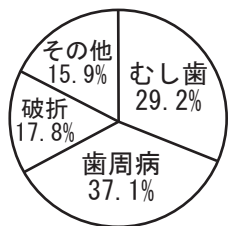
(香川県歯科医師会、2014)

■ 歯科検診・健診と医科医療費の関係

またむし歯や歯周病等の歯科疾患の早期発見を目的とした歯科検診や歯の健康維持のための点検を目的とした歯科健康診断(歯科健診)を1年間に1回以上受けるグループでは、受けないグループと比較して生活習慣病系(糖尿病、高血圧、心血管疾患、脳血管疾患等)の医科医療費が低く、香川県歯科医師会の調査では1年間で平均9万円少ないことが分かりました。

■ 歯科健診受診と医療費の関係

歯の喪失の2大原因は、歯周病とむし歯です。どちらもある日突然発症して歯を失うのではなく、少しずつ病状が進みます。検診・健診を定期的に受けている方では予防や早期に発見が可能となり、クリーニングや指導で健康状態を保つことができます。35歳を超えると約8割が歯周病にかかっているという調査結果もあり、社会人以降の定期的な検診・健診を受けることは、歯の本数を維持するだけでなく、全身の健康維持にとっても大変重要であると言えます。



◆ 口腔の健康と全身の健康は密接に関連していて、生涯医療費は歯で決まる ◆

口腔ケア新聞の発行にあたって

ここ数年、外来患者さんやそのご家族から訪問診療のお問い合わせやご依頼を受けるケースがとて増えてきました。小さなご病気されてしまったことがキッカケで、寝たきりになってしまわれたりして、『いつもお元気でいいですね』って話をしていたのに。。。そんなことが続いたので、これは本格的に訪問診療に取り組まなければいけないかなって、強く思うようになりました。

そこで取り組みの一環として、要介護者の歯と口に関する情報を地域の介護に携わっている方にお届けしようと考え、口腔ケア新聞を毎月1回発行しています。

津谷歯科医院

診療時間 9:00~12:30/14:00~18:30
(土曜日は16:30まで)
診療科目 歯科 小児歯科
休診日 木曜・日曜・祝祭日
院長 津谷 良
岡山市中区海吉1807-14
☎ 0120-779-418 FAX 0120-779-413